

# 八幡平市

## 快晴の七時雨山開きに登山者の笑顔輝く



岩手山（写真右上）や八幡平、安比高原が広がる大パノラマを眺めながら、七時雨山の深緑まぶしい自然を楽しみお登山者たち

新日本百名山の一つに数えられる七時雨山（1063メートル）の山開き行事は6月3日、田代平登山口で行われました。「日に七度しぐれる」とされる七時雨山でも、この日ばかりは一日中快晴に恵まれ、絶好の登山日和。神事に出席した登山者や観光関係者など約60人は、今シーズンの登山者の安全と、観光名所として七



山開きを祝い、山頂で万歳三唱する登山者たち

時雨山の発展を願いました。出発式で武田常徳副市長は「七時雨山は市の貴重な財産です。素晴らしい自然を体感し、守り育てよう」とあいさつし、登山隊に市旗とピッケルを手渡しました。登山者たちは市旗を先頭に、広葉樹の深緑を楽しみながら約一時間半で北峰頂上に到着。山頂で岩手山、八幡平、安比高原などが広がる大パノラマを楽しみ、万歳三唱で山開きを祝いました。七時雨山の山開き行事は、七時雨、田代平の両登山口で行われていましたが、今年から交互に実施します。

歩行者の踏切事故を防ぐと、安代小学校の児童7人は5月28日、通学路にもなっている岩手警察署安代駐在所前の第5津軽街道踏切にストップマークを貼り付けました。ストップマークは、踏切前で安全確認を喚起する縦30センチ、横45センチのシールです。歩行者に正しい安全確認を身に付けてもらおうと、安代駐在所が設置を発案。児童たちは「1年生は、特に踏切に注意してほしい」と交通安全を願いました。



踏切事故を防ぐと、ストップマークを貼り付ける児童

## 踏切前ではストップマークで安全確認を



田村正彦市長から祝福の花束を受け取る千葉キクさん

大更に暮らす千葉キクさんは5月24日、百歳の誕生日を迎えました。地域全体でキクさんの誕生日を祝おうと、5月29日に大石平公民館で誕生会が行われました。キクさんは明治40年、盛岡市玉山区巻堀生まれ。18歳で故・治助さんと結婚し、かじ屋と農業を営みました。今でも、炊事や洗濯などの家事を自分で行うほか、毎朝農作業にも精を出す、元気いっぱいのおばあちゃんです。

## 大石平の宝・千葉キクさんの百歳を祝う